

-----10月3日-----

今週のアウトルック(10/3~10/7)

先週は米ドルの買い戻しが目立った一週間でした。ユーロ圏は相変わらず良いニュースが入る気配すら見えないままなのですが、米国は少し状況が変わってきたようです。

米国マクロ指標に少しずつ改善がみられ、今週は雇用統計なども控えているため、関心がそちらに集中しそうです。

悪い状況が続いていたため、少しでも改善を示すような結果が出れば大きく反応しそうです。ショートポジションを大量に持っていた投機筋が、一気にポジション解消に走るキッカケを待っている可能性も否定できません。

ドル円は、76円以下へのトライに先週結局成功しませんでした。今週は、米国雇用統計関係のマクロ指標に改善が見られなければ、再び76円以下へトライしようとする動きも出るかもしれませんが、少しでも改善を示唆するような結果が出れば、一気に買い戻しの流れに変わる可能性も高いように思います。

ドル円の予想レンジは76円から78円です。

ユーロは、米ドルの買い戻しの流れに押されて、ユーロドルが1.34付近で週末を迎えています。今週も米国雇用統計の改善を予測する流れが続く可能性が強いため、少なくとも金曜日の雇用統計発表まではドル高傾向が続く可能性が高いように思います。また、雇用統計発表後、予想通りの改善が確認できれば、ドルの買い戻しはもう一段進むかもしれません。その流れに合わせて、ユーロドルは1.3付近まで下落する可能性が高まり、ユーロ円の100円割れも有りうると思った方が良いでしょう。

ユーロ円の予想レンジは98円から105円です。

ポンドは、ポンドドルのドルの買い戻しが、ユーロドルのように進んでいません。米国雇用統計の結果いかんでは、買い戻しが進む可能性もありますが、今週は、ほぼ横ばい的な動きと考えて良いでしょう。

ポンド円の予想レンジは119円から121円です。

今週は、米国雇用統計の結果を示唆した情報に、大きく振り回されることもあるかもしれません。突発的な十分に動きには注意したいところです。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。